

あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 46 2012年10月2回

生産者の取り組み —放射能対策をしています—

タンポポ村～安心して食べていただくために～



タンポポ村の工場は福島県南相馬市鹿島区にあります。福島第一原発事故では、幸い避難区域圏外でしたが、いち早く空間線量計を入手し、汚染の現状を自ら確認。

「作った商品が汚染されているのではない」

敷地内の線量、井戸水や原料肉から製品まで放射能測定を繰り返し行った上で、工場再開を決断しました。

供給再開後も、測定機器を性能の良いものに変更しながら自主測定体制の強化に取り組んでいます。また、外部検査機関での製品検査も毎月行っています。

(自主検査室で分析データをみる牛渡社長:左写真)



牛渡社長コメント



弊社では食品放射能の自主検査、外部検査を行ってききましたがあいコープ様に納品されるものから今まで一度も放射能汚染が確認されたことはありません。原発に近いからこそ放射能検査をきちんとやる必要があります、だからこそ安心して食べられる製品のみを出荷しています。

タンポポ村の自主測定体制

スモークサーモン	製造ロット毎
ハム・ソーセージ	原料肉毎
シュウマイ・ぎょうざ	製造ロット毎
測定機器：NaIシンチレーションスペクトロメーター（核種別分析）	